

## ソファの補修 (二人掛けリクライニング)

### 概要

- ・ 11年前(H14/10月)に購入した旧式のリクライニング式ソファだが、さすがに寿命で座り心地が悪くなっていた。(足置きは別途オットマン式)
- ・ お気に入りだったので、クッション性が少し戻れば使い続けたいのだが、買換えを覚悟の上で、思い切って分解補修に挑戦してみる。

製造者 富士ファニチャ 購入：218,000円

補修費用 約6,000円

完成：2013年5月



右側が補修前：座ると座面の沈み込みが大きく、スポンジも少しへたっている感じ。左側は補修後：見た目は変わらないが、座ると歴然、買った時の座り心地くらいに戻った。



↑クッションの入っている部分が4つに分解できる。右下が座面部分、背当てと蝶番繋がりになっている。



↑座面の基礎部分：ウェービングベルトは張り直してテンションを上げるが、チップフォームはそのまま。



← 背当てと座面を、蝶番部で切り離し、黄色いスポンジを張り付けたところ。

→ 座面の40mmクッション部分、これにも5mmスポンジを追加貼り付けします。

写真はないが、背当てにもスポンジを追加貼り付けして完了。



### メモ

- ・ このソファは、3人の孫たちの成長とともに、山登りや滑り台になったりで、11年もよく耐えてきてくれたものだと思う。
- ・ ソファのメンテは初挑戦だったが、まず左側をやってみて、その具合で買い替えにするか判断しようと、気楽に取り掛かるが、さすがに二人掛けリクライニングは重たいので苦勞する。
- ・ 専門業者の修理見積を参照してみると、運搬費なども含めて6万円以上はかかりそう。修理費用で、今では電動リクライニングの廉価品が手に入るのではということで、俄然自前のメンテに熱が入った。
- ・ 量り売りスポンジのサンプル帳を取り寄せて、硬さや厚さについて分解品と見比べると、へたりは少し見られもものの、5ミリ程度の厚さを補強してやればいけそうだったので、今回は全面に5mmスポンジを貼り付けることにした。
- ・ 座面のウレタンチップフォームはそのまま流用とし、ウェービングベルトは、強くする為にテンションを15ミリ張り直した。これで座面の沈み込みを抑え込むことができた。
- ・ 3日かかったが、座り心地も快適になり、これでまだ何年かは使い続けられることでしょう。やはり構造のしっかりしたものだ、素人のメンテでも十分復活するという事かも知れません。